

守山市地域公共交通計画（案）に係るパブリックコメントの結果および最終案について

昨年度より策定に取り組んできました「守山市地域公共交通計画」について、素案に対する、地域公共交通活性化協議会や市議会、パブリックコメントにおけるご意見等を踏まえ、計画の最終案として取りまとめました。

1 前回協議時からパブリックコメント実施までの変更点および対応

(1) 守山市地域公共交通活性化協議会で以下の意見を受けて、計画書を修正しました。

ア 運転免許証自主返納高齢者支援制度について、事業者の協力および負担により成り立っていることを明記した方が良いとの意見を受け、「事業者の協力および負担により」という文言を追加（P36）

イ 交通事業者の役割について、人員不足や経費拡大等の厳しい状況を踏まえて記載してほしいとの意見を受け、人員不足や経費拡大等に関する文言を追加し、記載内容を修正（P115）

また、上記修正の連動部分として、計画書の内容を一部修正（P85～P86）

(2) 市議会（委員会協議会）で以下の意見を受けて、計画書を修正しました。

ア 計画策定の背景・目的について、高齢者に関する視点等を踏まえて記載内容を見直した方が良いとの意見を受け、文言を修正（P5）

イ BTSの施策内容について、地域住民が増設等を検討するように読めてしまうため修正した方が良いとの意見を受け、主語が明確となるように文言を修正（P97）

2 パブリックコメントおよび市民説明会実施の結果

(1) 意見募集期間

令和6年1月15日（月曜日）から令和6年2月2日（金曜日）まで

(2) 原案公表方法

ア 備付縦覧等

市役所都市計画・交通政策課、市役所3階閲覧所、公文書館、駅前総合案内所、すこやかセンター、エルセンター、図書館、もりやまエコパーク交流拠点施設および各地区会館での備え付けならびに市ホームページでの掲載。

イ 市民説明会

第1回 日時：令和6年1月19日（金曜日）午後6時30分から

場所：守山市役所2階 防災会議室 [参加者3人]

第2回 日時：令和6年1月21日（日曜日）午前10時から

場所：速野会館1階 多目的室 [参加者7人]

(3) 意見提出方法

持参、郵送、FAX、電子メール、意見提出フォーム等のいずれかの方法にて提出

(4) 意見の件数（意見提出者数）

19件（7人）

(5) 意見の反映状況および意見の内容と市の考え方

区 分	計画の内容に対する意見等
① 原案を修正するもの	1件
② 原案には反映できないもの	0件
③ 既に原案に記載済みのもの	8件
④ その他	10件
合 計	19件

※語句修正については、省略しています。

※詳細については、「3 意見の内容と市の考え方」に記載しています。

3 意見の内容と市の考え方

No.	頁	提出された意見	市の考え方	反映区分
1	全体	<p>拙宅の前面道路は、終日「30km/時」以内の道路標識ですが、守っているのは自転車と歩行者だけです!夜間等は 60km 前後と覚しき猛スピードで通行して行きます。標識だけでは守れないと思いますので、下記の提案を致します。</p> <p>・ララポート守山の敷地内道路に設置されている「山型バウンド」を市道に設置してください。</p> <p>※隣接市の栗東では大宝神社付近他にも既に設置されています。</p>	<p>本計画は、本市の地域公共交通に関する方針等を定める計画であり、道路整備の内容について示すものではありません。</p> <p>なお、ご意見にあります「山型バウンド(ハンプ)」につきましては、速度抑制対策として有効な手法と考えておりますが、住宅が立ち並ぶ生活道路に段差等を設置すると、振動や騒音発生の原因となることから、設置のためには大前提として、地域の皆様のご理解が必要となります。</p>	④

2	104	<p>現在の守山市は公共交通機関が不足しており、大変不便さを感じます。</p> <p>バスはどんどん減便され、高齢者世帯は免許証を返納するよう求められるにもかかわらず、移動手段がなくいつまでも返納できず運転を続けるという悪循環が問題になっていると強く思います。</p>	<p>現在、市では、免許返納をされた高齢者に対する路線バス、タクシーの各事業者による運賃割引や、「高齢者おでかけパス」の販売、デマンド乗合タクシー「もーりーカー」等の制度を実施しておりますが、免許証を返納した後も安心して移動したいという声を多くいただく中、更なる取り組みとして、今年度からは各種制度の案内パンフレットを警察署や免許センターに設置し、関係機関と協力して周知に取り組んでおります。</p> <p>今後も計画案に記載のとおり、各種制度の周知活動を継続する中、より利用しやすい制度となるよう検討してまいります。</p>	③
3	23 99	<p>バスが少ないことによりマイカーが増え、特に雨天時の朝の通勤時間帯の駅前ロータリーの交通渋滞はひどいと思います。</p>	<p>駅前ロータリーの交通渋滞につきましては、計画案にも記載のとおり、ロータリーのレイアウトや運用方法を検討するとともに、マイカーから公共交通利用への転換を図る取組等により、自動車交通量の抑制を図ります。</p>	③

4	全体	<p>買い物や病院に通うなど日常的に足が必要な年金暮らしの方達にも、安価で使いやすい交通機関があれば、ずっと住みやすい町になると思います。</p> <p>大型バスはいりませんので、マイクロバスくらいのサイズで、小回りのきく巡回バスを設置することは出来ないでしょうか？</p> <p>たまに、巡回バスを見る事はありますが、ルートや時刻表を見ることもなく利用した事は一度もありません。</p> <p>行政主導で運行が可能なら、広報やポスターで大々的に周知をし利用を促して頂きたいです。</p>	<p>本市の地域公共交通は民間の路線バスを基幹とし、1か月あたり2,000円で市内路線バスが乗り放題となる高齢者おでかけバス等の取り組みにより、その充実を図っております。</p> <p>また、路線バスを補完するため、デマンド乗合タクシー「もーりーカー」を運行しており、1回あたり300円でご利用いただける交通手段として認知され、利用者数も年々増加しております。</p> <p>今後も、高齢者の方にも安価で使いやすい交通機関として、路線バスの高齢者お出かけパスの販売継続、「もーりーカー」の制度改善を検討中、制度に関する周知活動に取り組みます。</p> <p>ご意見にありました市内巡回バス等のコミュニティバスにつきましては、車両を一般のバスよりも小さい大型車にすることで車両経費は下げられるものの、必要な運転手の人数や人件費等については同様にかかるものであり、現時点での導入は難しいと考えております。</p> <p>しかしながら、現在、草津市および栗東市と共同で運行している「くるっとバス」については、ルートや時刻表を目にさせていただき、利用の機会が増えるよう、周知を図ってまいります。</p>	④
---	----	--	---	---

5	全体	<p>時々市役所や図書館を利用しますが、駐車場が結構一杯で、なかなか不便を強いられています。</p> <p>そこで、守山駅→市役所→市民病院→県立総合病院→小児医療センター→図書館(→警察署→市民ホール)→守山駅を回る巡回バスがあると、非常にありがたく、利用価値もあると思われませんが、いかがでしょうか。</p> <p>駅周辺の住民にはありがたく、また離れた地域の方も、一度バスで守山駅に来てそこからこのバスを利用して目的地に行くというパターンもあると思われます。</p> <p>そうなると、近江バスの利用客も増えるかもしれません。</p>	<p>市内巡回バス等のコミュニティバスにつきましては、No.4に記載のとおり、現時点での導入は難しいと考えております。</p> <p>ご意見にありました、守山駅→市役所前→市民病院前→滋賀県立総合病院→図書館前→警察署前→守山市民ホール前をつなぐルートにつきましては、既存の路線が運行されており、また、小児保健医療センターにつきましても別路線のバスが運行されていることから、計画案の基本方針の1つ目「既存地域公共交通を活かした利便性の向上」に基づき、既存路線の利便性向上に取り組んでまいります。</p>	④
6	全体	<p>市内循環バスがあれば便利だと思います、ミニのバスで良いと思います。予約なしに乗れば病院やその他、大変助かります、</p> <p>私はガン治療中の身でありませんが、通院に不自由しており、次第に買い物にも体が無理になって来ております、低所得で不便な所に住んでおります。</p> <p>モーリーカーも有りますが 経済的その他予約など大変です。</p>	<p>市内巡回バス等のコミュニティバスにつきましては、No.4に記載のとおり、現時点での導入は難しいと考えております。</p> <p>しかしながら、ご意見にもあります「モーリーカー」につきましては、計画案にも記載のとおり、予約方法等、より利用しやすい制度となるよう更なる利便性向上に取り組んでまいります。</p>	④

7	45～ 56	<p>市民の移動の実態では、自動車や自転車の利用が多く、P56の路線バスを利用しない理由で路線が近くにない（バス停が遠い）、行きたいところの路線がない、運行本数が少ないなど基幹のレインボーラインの守山駅の近くでは利便性はいいですが、駅から離れていくと使いにくい構造になっています。そのほかの路線は、立命館、市民ホールの路線以外は使いにくくなっています</p>	<p>路線バス事業を取り巻く状況は厳しく、利用者の少ない路線は廃止や減便等が実施され、さらに利便性が低くなるという負の循環が課題となっています。</p> <p>現在は、運行本数の多いレインボーラインにBTS(自転車駐輪場)を6か所設置しており、バス停へのアクセス強化に取り組んでおります。</p> <p>今後も引き続き、計画案に記載の各種取り組みにより路線バス利用者の維持・増加を図ってまいります。</p> <p>また、路線バスを補完する移動手段として、「もーりーカー」の制度の充実にも併せて取り組んで参ります。</p>	③
8	89～ 93	<p>計画の目標の中で、路線バスについて人が集中する地域（レインボーラインと、それにつながる佐川美術館、免許センター、ピエリ守山、マリオットホテル）を基準にしているだけで、人が集中しない地域は対象になっていないように思います。レインボーラインでもバス停から遠い地域、その他のバス路線のことも配慮をお願いします</p>	<p>計画の目標については、レインボーラインに限らず、路線バス全体の利用者数増加を掲げております。</p> <p>また、人が集中しない地域を走るバス路線には、公的な負担により維持している路線もあり、今後も路線の維持に向けて取り組んでまいります。</p>	③

9	98	<p>バス路線について、守山駅へ行く路線だけでなく、それにつながる横に広がる路線から乗り継ぎしやすくし、市内各所へ行きやすくする路線の再配分の検討機会を考えてほしい</p> <p>高齢者がバスに乗ろうとすると、バス停が歩いて行ける近くであって、待ち時間が短いのが一番です</p>	<p>ご意見にもある乗継ぎを含むバス路線の再配分については、計画案にも記載のとおり、市民全体の行動変容等の課題は多くあるものの、長期的な視点で検討を継続します。</p> <p>併せて、路線バスを補完する「もーりーカー」の制度充実を図り、市内各所への移動手段の確保に取り組んでまいります。</p>	③
10	102	<p>自動車免許の返納前に、もーりーカーを知っておくための試し乗りができる取り組みを考えていただけませんか</p>	<p>計画案に記載のとおり、制度内容や利用方法に関する説明会を実施するなか、試し乗りの機会についても検討します。</p>	③
11	98 100	<p>もーりーカーは、今後利用者が増えてきた場合、対応できなくなるようなことはないのですか</p>	<p>現時点では、もーりーカーの運行事業者であるタクシー事業者からは、利用者増により対応が難しいということは聞き及んでおりません。</p> <p>ご意見のような事態とならないよう運行効率化等にも取り組んでまいります。</p>	④
12	99	<p>バスの乗り場について、本数の多い木浜線は、駅東口からにするだけで解決できるとおもいますが？</p>	<p>JR守山駅西口ロータリーの混雑と渋滞対策につきましては、ご意見のように路線バスを東口発着とする手法も考えられますが、今後、市民ニーズや市議会での議論、事業者等関係者との協議を踏まえ、総合的に検討してまいります。</p>	④

13	110	特にバス路線の無い地域、バスの本数の少ない地域、バス停から遠い地域に出かけて行って本計画の理解を得ることや、要望を聞くことも考えてみてはどうですか。	計画案にも記載のとおり、交通不便地に限らず、地域住民が地域に適した地域公共交通のあり方について話し合う場を創出することで、移動手段確保のためにはどうすれば良いか、そのために地域住民や行政、交通事業者はそれぞれ何ができるかを考え、地域公共交通の確保に向けて主体的に考えるきっかけとなるよう取り組んでまいります。	③
14	89	地域公共交通の役割・機能について、くるっとバスの主な利用目的がそうであるように、守山市内を循環するコミュニティバスがなぜ無いのか。	市内巡回バス等のコミュニティバスにつきましては、No.4に記載のとおり、現時点での導入は難しいと考えております。	④
15	22 90	バス路線網に入っていない所(つがやま通りなど他)を周るコミュニティバスは必要ではないか。	市内巡回バス等のコミュニティバスにつきましては、No.4に記載のとおり、現時点での導入は難しいと考えております。	④
16	96	路線バスとコミュニティバスの接続が出来るように(運賃は割高にならないようにする)してはどうか。	公共交通を利用していただくための取り組みの一例として、ご意見を踏まえ、以下のとおり原案を修正いたします。 「利便性の高いダイヤや運賃サービスの検討」の施策内容の8行目から9行目について、「コミュニティバス等との乗継ぎ割引」を追記いたします。	①

17	44 93	<p>実績が低く公的資金の投入の割合の高い路線はコミュニティバスに転換し採算性を上げるようにする。</p>	<p>コミュニティバスは路線バスに対して採算性(収支率)が低いため、引き続き既存路線バスの維持に取り組んでまいります。</p>	④
18	23 99 111	<p>工事中の道路開通によって、JRと平行する交通の流れは今後緩和されることが期待できますが、琵琶湖大橋取付道路の混雑緩和は期待できません。湖西からの通勤車両数を低減する策を県や関係する市町と連携して立案・実行することは可能ではないかと考えます。例えば大きな公共駐車場を琵琶湖大橋の守山側か堅田側に作り、そこから守山駅までを通勤時間帯に限定して直通バスでつなぐ。取付道路以外にバス優先道路を設定することとか、守山駅周辺の車の流れ改善という付帯する課題をクリアすれば、地域バス業者の経営改善にも資することができるのではないかと考えています。</p>	<p>専用道路や公共駐車場の設置等の公的費用が必要な整備については、長期的な検討や関係機関との調整が必要となります。</p> <p>しかしながら、JR守山駅西口ロータリーをはじめとする道路混雑については本市の重要課題の1つと認識しており、計画案にも記載のとおり、県や関係市町とも連携する中、ロータリーの改善や、モビリティマネジメント(1人1人の移動が社会的にも個人的にも望ましい方向に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした交通施策)による移動手段の転換、企業に対する通勤等での地域公共交通の利用促進等を検討し、混雑解消に向けて、できることから取り組んでまいります。</p>	③

19	26 27	<p>JR 琵琶湖線の高頻度大幅遅延・運休対応策について、姫路方面から米原まで約 200Km を直通で走る車両が多いのが主因で、京都大阪間や大阪神戸間のように並行して走る鉄道が無い路線では、高頻度で発生する標記の問題が大きな課題です。JR 西日本には「野洲－京都」あるいは「野洲－京都－近江八幡－野洲」列車の創設等による通勤時間帯の冗長性組み込みを是非とも検討するよう強く働きかけるべきだと思います。駅間を結ぶバスサービス充実も同様の目的で冗長性付与に資すると考えます。県や周辺市町に働きかけて実現して頂きたい重要課題です。</p>	<p>西日本旅客鉄道株式会社（JR 西日本）に對しましては、コロナ禍に減便されたダイヤの復活等、通勤・通学時間帯の利便性を考慮したダイヤ設定や、災害等による運転見合わせ時等における協力体制の構築について、湖南地域または県単位で要望しているところであり、引き続き近隣市や県等と連携し、要望事項の検討に参画してまいります。また、本市では、草津市および栗東市と共同で、JR 守山駅、草津駅、栗東駅を結ぶバスサービスとして、「くるっとバス」を運行しており、今後も利便性向上等により充実を図ってまいります。</p>	④
----	----------	--	--	---

4 経過および今後のスケジュール

- 令和 4 年 11 月 活性化協議会（計画策定の概要とスケジュールについて）
- 令和 5 年 2 月 もりーカーに関するアンケート調査の実施
- 3 月 市民懇談会の開催
- 6 月 活性化協議会（計画策定状況について）
環境生活都市経済常任委員会協議会（計画策定状況について）
- 7 月 交通事業者ヒアリング調査の実施
- 8 月 活性化協議会（計画策定状況について）
- 9 月 環境生活都市経済常任委員会協議会（計画策定状況について）
- 11 月 活性化協議会（計画案について）
環境生活都市経済常任委員会協議会（計画案について）
- 令和 6 年 1 月 パブリックコメント実施
- 2 月 活性化協議会（パブリックコメントの結果）
- 3 月 環境生活都市経済常任委員会協議会（パブリックコメントの結果）
守山市地域公共交通計画の公表

5 添付資料

- 守山市地域公共交通計画最終案（本編） … 資料 1 - 1
- 守山市地域公共交通計画最終案（概要版） … 資料 1 - 2